

# メキシコ

2022年9月2日

海外調査部・メキシコ事務所

2021年のメキシコ経済は、輸出の堅調な伸びや内需の回復により前年比4.8%の成長となり、新型コロナウイルス感染症拡大による歴史的落ち込みを記録した前年から一定の回復を見せた。2021年はコロナ禍到来前の水準まで経済が回復することが期待されたが、鉱工業分野は半導体不足に代表される供給難に苦しめられ生産が停滞した。新型コロナワクチン接種が進むにつれて外出自粛が緩和され、サービス業は主要分野が活性化した一方で、人材派遣を原則禁止する労働法改正が施行された影響でビジネス支援サービス業は操業困難な状況へと追い込まれた。ビジネス支援サービス業の後退は2021年のメキシコの経済成長にとって最大の押し下げ要因となり、連邦政府による急激な制度変更が経済回復を妨げた結果となった。貿易収支は製造業の回復による中間財・資本財の需要拡大と内需回復による消費財の需要増により赤字に転じた。貿易収支は115億ドルの大幅赤字となり、従来 of 赤字基調に戻った。対内直接投資額は前年比12.8%増加し、米国、EUからの投資が伸びた。

## ■半導体不足などの供給難、労働法改正による打撃が経済の回復を阻む

新型コロナワクチン接種の前進や感染状況の改善から、2021年のメキシコ経済はコロナ禍が発生する前の水準に回復することが期待されたが、実質GDP成長率は4.8%にとどまり、前年の歴史的後退(8.1%減)を取り戻すことはできなかった。鉱工業分野のうち経済成長への寄与度が最も大きい製造業では、米国市場の需要に牽引され工業品の輸出は前年比で増加したものの、コロナ禍に起因する半導体不足に代表される供給難が自動車産業を中心に生産活動を停滞させた。2021年の製造業のGDP成長率は8.6%と増加したものの、前年は9.4%のマイナスだったことを考慮するとコロナ禍前の水準には達していない。特に自動車生産を含む輸送機器製造は前年に19.3%減と大きく後退した一方で、2021年は8.9%増にとどまった。背景には、長引く半導体不足から自動車メーカーが生産を一時停止する例が相次ぎ、需要は回復しても生産が追い付かない事態が生じたことがある。2021年第3四半期以降に新型コロナワクチンの接種が若年層まで行きわたり、州政府などによる操業規制や外出自粛が大幅に緩和されると、サービス産業の需要が活性化し、小売・卸売業、運輸・郵便・倉庫業、ホテル・レストランなどの主要業種が前年比で成長率を大きく伸ばした。一方、アンドレス・マヌエル・ロペス・オブラドール政権が前年秋に国会に提出した労働法改正が2021年4月に施行され、専門サービス・工事など一部を除けば人材派遣が原則として禁止されたことで、ビジネス支援サービス業においては多くの企業が廃業に追い込まれた。専門サービスなどの人材派遣を継続する場合でも労働社会保障省への登録手続きが義務化され、同手続きの遅延や混乱が生じたことから、ビジネス支援サービス業の2021年第3四半期GDP成長率は48.1%減、第4四半期には70.3%減と大幅に後退した。連邦政府による急激な制度変更が企業活動を妨げた結果、ビジネス支援サービス業の後退は2021年メキシコ

経済の成長にとって最大の押し下げ要因となった。

2021年末～2022年2月下旬にかけて、オミクロン株による新型コロナの感染急拡大が再び起こったため、経済活動の停滞が懸念されたが、2022年第1四半期のGDP成長率は前年同期比1.8%増だった。2022年第1四半期のGDP成長率を業種別にみると、前年同期比で減少したのは建設業（同0.1%減）、政府・行政（0.4%減）、ビジネス支援サービス業（73.6%減）の3業種のみだった。

表1 メキシコの需要項目別実質GDP成長率

	2020年	2021年					2022年
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
実質GDP成長率	△ 8.1	4.8	△ 3.8	19.9	4.5	1.1	1.8
民間最終消費支出	△ 10.3	7.5	△ 4.6	23.4	8.8	5.7	7.2
政府最終消費支出	△ 0.2	1.0	△ 2.5	4.4	1.4	0.7	0.8
総固定資本形成	△ 17.7	9.5	△ 5.9	31.7	12.2	6.6	5.6
在庫変動（在庫投資）	△ 64.7	117.5	84.7	1.3	309.1	192.4	△ 11.2
財貨・サービスの輸出	△ 7.3	6.9	△ 4.2	33.7	0.8	4.4	10.1
財貨・サービスの輸入	△ 13.8	13.6	△ 1.0	35.2	18.2	8.1	5.8

〔注〕 四半期の伸び率は前年同期比。  
〔出所〕 国立統計地理情報院（INEGI）

## ■需要回復で貿易収支は赤字基調へ

2021年の貿易は、輸出が前年比18.5%増の4,942億2,500万ドル、輸入は同32.0%増の5,057億1,600万ドルだった。輸出総額と輸入総額を合計した往復貿易額は9,999億4,100万ドルと1兆ドルに迫り、過去最高額となった。新型コロナ感染拡大が始まった2020年は、外出自粛などによる需要減や政府当局の操業規制で生産が低迷したことにより、中間財などの輸入が減少したため、過去最高の黒字額を記録したが、2021年には需要が回復して輸入が大幅に増加し、貿易収支は114億9,100万ドルの赤字に転じた。メキシコは、部品・原材料などの中間財や、機械など資本財の多くを輸入に依存していることに加え、

表2 メキシコの主要品目別輸出入

	2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率
原油産出国ではあるもののガソリンなど石油精製品の多くを輸入しているため、貿易収支は以前から赤字基調だった。				
輸出総額（FOB）	416,999	494,225	100.0	18.5
農産・林産品	16,427	17,786	3.6	8.3
畜産・水産品	1,857	1,882	0.4	1.4
鉱産品	24,891	38,480	7.8	54.6
原油	14,684	23,984	4.9	63.3
工業製品・同部品	373,823	436,076	88.2	16.7
自動車・同部品	122,894	139,842	28.3	13.8
乗用車	40,489	40,857	8.3	0.9
電気・電子機器	66,360	76,450	15.5	15.2
カラーテレビ・ディスプレイ	13,066	15,730	3.2	20.4
データ送受信機器	14,106	14,138	2.9	0.2
産業用機械機器	64,383	72,333	14.6	12.3
輸入総額（FOB）	382,986	505,716	100.0	32.0
農産・林産品	12,229	17,409	3.4	42.4
畜産・水産品	566	933	0.2	64.9
鉱産品	33,702	56,656	11.2	68.1
ガソリン・ディーゼル	16,953	24,912	4.9	46.9
工業製品・同部品	336,489	430,717	85.2	28.0
繊維・アパレル・皮革	10,775	13,790	2.7	28.0
自動車・同部品	45,031	54,948	10.9	22.0
産業用機械機器	57,756	69,236	13.7	19.9
電気・電子機器	81,357	98,842	19.5	21.5

〔注〕 2021年は暫定値。構成比は全て総額に対する比率。  
〔出所〕 中央銀行（Informe Annual 2021）およびINEGI貿易統計から作成

表3 メキシコの主要国・地域別輸出入

	輸出（FOB）				輸入（FOB）			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
北米	349,841	411,829	83.3	17.7	176,088	232,236	45.9	31.9
米	338,701	398,782	80.7	17.7	167,762	220,988	43.7	31.7
カナダ	11,139	13,047	2.6	17.1	8,326	11,249	2.2	35.1
中米	6,437	8,334	1.7	29.5	2,321	3,295	0.7	42.0
グアテマラ	1,914	2,442	0.5	27.6	484	656	0.1	35.5
コスタリカ	782	971	0.2	24.2	716	830	0.2	15.9
南米	10,091	13,084	2.6	29.7	9,623	14,602	2.9	51.7
ブラジル	3,055	3,657	0.7	19.7	5,634	8,806	1.7	56.3
コロンビア	2,613	3,434	0.7	31.4	967	1,401	0.3	44.9
チリ	1,319	2,080	0.4	57.7	1,305	2,133	0.4	63.4
アルゼンチン	712	917	0.2	28.8	588	937	0.2	59.4
ペルー	1,195	1,558	0.3	30.4	573	701	0.1	22.3
ベネズエラ	270	230	0.0	△ 14.8	17	14	0.0	△ 17.6
カリブ	1,619	2,618	0.5	61.7	971	1,123	0.2	15.7
アジア	24,360	29,047	5.9	19.2	146,530	193,387	38.2	32.0
中国	7,891	9,257	1.9	17.3	73,506	101,021	20.0	37.4
日本	3,652	4,169	0.8	14.2	13,897	17,085	3.4	22.9
韓国	5,361	6,713	1.4	25.2	14,710	19,055	3.8	29.5
マレーシア	218	271	0.1	24.3	10,833	12,448	2.5	14.9
台湾	491	574	0.1	16.9	8,761	11,790	2.3	34.6
タイ	314	333	0.1	6.1	5,327	6,529	1.3	22.6
インド	2,616	4,174	0.8	59.6	4,255	5,931	1.2	39.4
シンガポール	733	837	0.2	14.2	1,771	1,992	0.4	12.5
香港	1,190	852	0.2	△ 28.4	403	468	0.1	16.1
EU	18,148	21,430	4.3	18.1	40,076	50,560	10.0	26.2
ドイツ	6,586	7,541	1.5	14.5	13,871	17,233	3.4	24.2
スペイン	3,323	4,911	1.0	47.8	3,762	4,593	0.9	22.1
フランス	1,295	1,380	0.3	6.6	3,390	4,126	0.8	21.7
オランダ	2,041	2,343	0.5	14.8	2,034	2,643	0.5	29.9
イタリア	1,166	1,015	0.2	△ 13.0	4,838	6,109	1.2	26.3
その他欧州	4,538	5,583	1.1	23.0	5,473	8,152	1.6	48.9
英国	2,619	3,032	0.6	15.8	1,811	2,096	0.4	15.7
アフリカ	698	911	0.2	30.5	1,298	1,623	0.3	25.0
オセアニア	1,115	1,216	0.2	9.1	586	718	0.1	22.5
オーストラリア	1,000	1,054	0.2	5.4	268	389	0.1	45.1
合計	416,999	494,225	100.0	18.5	382,986	505,716	100.0	32.0

〔注〕 2021年は暫定値。英国は2020年1月31日にEUを脱退したため、同日以降はEUの輸出入総額から除く。  
〔出所〕 中央銀行（Informe Annual 2021）から作成

2021年に輸入が大きく伸びて輸出の伸びを上回り、貿易収支が赤字となったことは、国内での生産活動や消費が活発化した証左ともいえる。

輸出を品目別にみると、コロナ禍の発生で急激な需要減に見舞われた前年の反動から、2021年は主要品目で軒並み前年比プラスとなった。

最も構成比が大きい工業製品・同部品が4,360億7,600万ドルで前年比16.7%増、うち自動車・同部品は1,398億4,200万ドルで同13.8%増だった。内訳をみると乗用車の輸出は408億5,700万ドルで0.9%増にとどまったが、自動車部品の輸出が好調だった。原油は世界的な価格の高騰も影響し、前年比で63.3%増の239億8,400万ドルだった。輸出量は日量101万8,000バレルで前年比9.1%の減少だった。その他、電気・電子機器は764億5,000万ドルで同15.2%増、産業用機械機器は723億3,300万ドルで12.3%増だった。輸出を国・地域別にみると、全体の8割を占める米国向けが17.7%伸びた。最大の輸出品目はコンピュータ機器で前年比6.0%増、次に自動車部品が17.9%増、ケーブル類が19.1%増だった。新型コロナ感染拡大前は最大の輸出品目は乗用車だったが、2021年は4番目となっており、輸出額も前年比10.9%減少している。その他、アジア諸国向けの輸出が19.2%増、EU向けの輸出も18.1%増加している。

輸入を品目別にみると、最も構成比が大きい工業製品・同部品が前年比28.0%伸長した。また、原油価格の上昇が影響してガソリン・ディーゼル油が同46.9%と大幅に増加し、農産・林産品も42.4%増と大きく伸びた。国・地域別にみると、全体の43.7%を占める米国からが前年比31.7%増加した。米国からの輸入額が最も大きいのは天然ガスおよび液化石油ガス(LPG)で同2.4倍、自動車部品が12.2%増と続いた。米国の次に多いのは中国で、同37.4%増加した。

## ■米国がUSMCAの紛争解決手続きに基づき、エネルギー政策の見直しを求める

近年のメキシコ連邦政府のエネルギー政策の転換が、米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)の懸案事項として浮上している。ロペス・オブラドール政権が2021年3月以降、国営企業である電力庁(CFE)と、メキシコ石油公社(PEMEX)を優遇する内容の法改正を相次いで実施したことから、メキシコ国内では民間企業の公正な競争下における操業の権利を侵害するとして、憲法上の庇護訴訟(アンパロ)が複数提訴される事態となっていた。これらの法改正については、米国、カナダの両政府からもUSMCAの精神に反するとの懸念が、メキシコ政府に何度も伝えられてきた。米国からは、複数回にわたって

ジョン・ケリー気候変動担当大統領特使が米国企業家らとロペス・オブラドール大統領を訪問し、政策を見直すよう働きかけを行ってきたが、大きな進展はみられなかった。2022年7月、米・メキシコ通商閣僚会談

表4 メキシコのFTA発効・署名・交渉状況

FTA	発効日	貿易全体に占める構成比(2021年)		
		往復	輸出	輸入
発効済 北米自由貿易協定(NAFTA)⇒米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)	1994/4/1 2020/7/1	64.4	83.3	45.9
メキシコ-コロンビアFTA(旧G3FTA)	1995/1/1	0.5	0.7	0.3
メキシコ-チリFTA	1999/8/1	0.4	0.4	0.4
メキシコ-イスラエルFTA	2000/7/1	0.1	0.1	0.2
メキシコ-EUFTA	2000/7/1	7.2	4.3	10.0
メキシコ-EFTA(4カ国)FTA	2001/7/1	0.4	0.3	0.4
メキシコ-ウルグアイFTA	2004/7/15	0.1	0.1	0.1
日本メキシコ経済連携協定(日墨EPA)	2005/4/1	2.1	0.8	3.4
メキシコ-ペルー通商統合協定	2012/2/1	0.2	0.3	0.1
メキシコ-中米単一FTA(5カ国)	2013/9/1	1.0	1.4	0.6
メキシコ-パナマFTA	2015/7/1	0.1	0.3	0.0
太平洋同盟(チリ、ペルー、コロンビア)	2016/5/1	1.1	1.4	0.8
環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP、いわゆるTPP11)	2018/12/30	6.0	4.0	7.9
合計 13協定(50カ国、注)	-	77.9	92.4	63.7
交渉中				
メキシコ-ブラジル経済統合戦略協定	-	1.2	0.7	1.7
メキシコ-韓国経済統合戦略協定	-	2.6	1.4	3.8
メキシコ-アルゼンチン経済統合協定	-	0.2	0.2	0.2

[注] 中米単一FTAは、グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル、コスタリカ、ニカラグア(発効日は最も遅いグアテマラの日付)太平洋同盟の3カ国とは二国間協定も存在するため、二国間協定の貿易額を合計に採用。

CPTPPはシンガポール、ニュージーランド、オーストラリア、ベトナム、カナダ、日本に加え、2021年9月にペルーで発効したが、重複を避けるために合計からはペルー、日本、カナダを控除。

[出所] 経済省ウェブサイト、INEGI貿易統計などから作成

でキャサリン・タイ米国通商代表部 (USTR) 代表からメキシコのタティアナ・クルティエール経済相に「メキシコのエネルギー政策が米国企業の投資にとって脅威となっている」旨が直接伝えられた後、メキシコのエネルギー政策がUSMCAに違反しているとして、同協定の紛争解決手続きに基づいてメキシコ政府に協議を要請すると、USTRが正式に発表した。カナダもUSTRを支持し、メキシコ政府と2国間で協議を開始する意向を表明しており、かねてより問題視されていたロペス・オブラドール政権のエネルギー政策は、国際問題へと発展した。

また、USMCAに基づくメキシコ国内の労働権侵害への監視も強化されている。USMCAの発効後、同協定で定める「事業所特定の迅速な労働問題対応メカニズム (RRLM)」に基づいてUSTRからメキシコ政府に対して5件の事実確認要請が行われている。ゼネラル・モーターズ (GM) のシラオ工場、トリドネックス (自動車部品製造) のメキシコ北東部タマウリパス州マタモロス市の工場については2021年5～6月にメキシコ政府に対して事実確認要請が行われ、2022年7月にはパナソニック・オートモーティブ・システムズ (自動車部品製造) のタマウリパス州レイノサ市にある工場も労働権侵害の疑いがあるとされ事実確認の対象になった。これら3件については、いずれも外部専門家で構成するパネルを設置する前に事案は解決している。4件目は2022年7月に北部コアウイラ州フロンテラ市にある自動車部品メーカー、テクシド・イエロの工場で結社の自由および団体交渉権が侵害されたとの訴えが関係労働組合から米政府に対して行われたもの。コアウイラ州ピエドラスネグラス市にある自動車部品メーカー、マニュファクトゥラスVUの工場についても、労働権侵害に関する事実確認要請がUSTRからメキシコ政府に対してなされており、RRLMの積極的な活用が目立つ。

## ■対内直接投資額は12.8%増、米国、EU加盟諸国が増加

2021年の対内直接投資額は前年比12.8%増の316億5,800万ドルだった。業種別にみると、最も構成比の大きい製造業への投資が7.5%増加し、特に自動車部品製造への投資が好調だった。同分野への投資額は35億4,900万ドルで、前年比2.7倍と大幅に増加し、過去最高の投資額を記録した。自動車部品製造業への投資は、コロナ禍でサプライチェーン分断の悪影響が強く認識され、ニアショアリングの重要性が再認識されたことによる。その他、鉱業への投資額も47億8,000万ドルと3.4倍の大幅増となっている。

国・地域別にみると米国からの投資が147億5,500万ドルで39.1%増と大きく増えた。個別事例をみると、IT部門でのデータセンターの建設、メキシコ北部における家電製造などの分野で大型案件が目立つ。EU加盟諸国からの投資も活発で、前年比で13.0%増加している。スペインの大手銀行サンタンデルがインフラ設備やサイバーセキュリティ対策のために5億ドルの投資を発表し、ドイツからも複数の自動車部品製造会社が工場の拡張投資を発表している。

表5 メキシコの業種別対内直接投資額  
〈国際収支ベース、ネット、フロー〉  
(単位：100万ドル、%)

	2020年		2021年	
	金額	構成比	金額	伸び率
農林水産業	136	205	0.6	50.5
鉱業	1,413	4,780	15.1	238.2
電気・ガス・水道	433	586	1.9	35.3
建設業	464	252	0.8	△45.6
製造業	10,845	11,659	36.8	7.5
食品・飲料・たばこ	979	232	0.7	△76.3
化学産業	988	773	2.4	△21.8
自動車産業	4,422	5,514	17.4	24.7
自動車・トラック製造	2,774	1,570	5.0	△43.4
自動車部品製造	1,294	3,549	11.2	174.3
発電・電気機器	413	1,164	3.7	182.1
情報・通信・計測・電子機器	803	1,072	3.4	33.5
商業	2,123	2,789	8.8	31.4
運輸・郵便・倉庫	2,823	3,147	9.9	11.5
通信・マスメディア	1,240	592	1.9	△52.3
金融・保険	6,641	4,876	15.4	△26.6
不動産・賃貸	357	325	1.0	△8.8
レストラン・ホテル	1,180	1,764	5.6	49.5
その他	407	684	2.2	68.1
総額	28,062	31,658	100.0	12.8

[注] 2022年3月31日確認分。構成比は合計に対するもの。投資額には新規投資と増資に加え、再投資利益と親子会社間勘定を含む。  
[出所] メキシコ経済省外国投資局

■日本の対メキシコ輸出は軒並み回復、輸入も農水産食料品が堅調

日本の貿易統計（通関ベース）によると、2021年の日本の対メキシコ輸出（FOB）は前年比29.0%増の108億2,900万ドルだった。主要輸出品目をみると、自動車部品は16億3,400万ドルで17.5%増加したが、乗用車は7億7,300万ドルで15.3%減少した。鉄鋼・同製品は21億8,600万ドルで74.5%増加し、一般・産業機械も26.0%増と堅調だった。前年は新型コロナウイルス感染症が拡大したことから、メキシコと日本の両国で景気後退や生産の一時停止が生じ、日本の対メキシコ輸出の主要品目は軒並み前年比でマイナスを記録したが、2021年は乗用車を除く全ての主要品目でプラスとなった。

日本の対メキシコ輸入（CIF）は57億6,500万ドルで前年比6.0%増加した。品目別にみると、工業製品では電気・電子機器

表6 メキシコの国・地域別対内直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位：100万ドル、%)

	2020年		2021年		1999～2022年1Q累計	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	構成比
NAFTA/USMCA	14,821	17.373	17,373	17.2	355,160	53.9
米国	10,605	14.755	14,755	39.1	306,215	46.5
カナダ	4,215	2,619	△ 37.9	48,946	7.4	
EU	6,959	7,867	13.0	182,355	27.7	
スペイン	3,977	4,463	12.2	79,942	12.1	
ドイツ	876	2,089	138.6	29,164	4.4	
ルクセンブルク	15	970	6,172.6	4,425	0.7	
フランス	293	480	64.0	10,737	1.6	
イタリア	686	128	△ 81.4	8,959	1.4	
ベルギー	306	87	△ 71.7	21,181	3.2	
オーストリア	37	69	88.6	1,242	0.2	
その他	6,283	6,418	2.2	121,332	18.4	
英国	901	1,807	100.5	18,144	2.8	
日本	1,226	1,596	30.1	29,860	4.5	
韓国	601	693	15.2	8,132	1.2	
スイス	522	384	△ 26.5	8,666	1.3	
ブラジル	347	233	△ 32.7	5,895	0.9	
中国	217	414	91.1	1,951	0.3	
香港	74	78	5.4	1,241	0.2	
総額	28,062	31,658	12.8	658,847	100.0	

[注] 2022年3月31日確認分。構成比は合計に対するもの。投資額には新規投資と増資に加え、再投資利益と親子会社間勘定を含む。英国は2020年1月末にEUを脱退したため、2020年のEUからの投資総額は英国を含まない。  
[出所] メキシコ経済省外務投資局

表7 メキシコの主な対内直接投資案件

(単位：ドル)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
コンテンツ	ネットフリックス	米国	2021年1月	3億	米国コンテンツ配信プラットフォーム大手のネットフリックスは3億ドルの投資を行い、50本のオリジナル作品をメキシコ国内で撮影・制作するとともに、ラテンアメリカ諸国で初となる支店を開設することを発表した。
自動車	ZFフリードリヒスハーフェン	ドイツ	2021年3月	6,230万	独ZFフリードリヒスハーフェンのメキシコ法人は、ケタロ州にある同社の生産拠点を6,230万ドルの追加投資を行い、ステアリング系統部品の生産を拡大する。同追加投資によって約500人を雇用する。
IT	クラウドHQ	米国	2021年3月	7億2,800万	米クラウドHQは、ケタロ州にデータセンター・キャンパスを建設するため、7億2,800万ドルの新規投資を行うことを発表した。欧州およびラテンアメリカ諸国で高まる需要の高まりに応え、ケタロ州に建設されるデータセンターはブラジルで進行中のプロジェクトに使用されるとしている。
家電	ハイセンス	中国	2021年3月	2億6,000万	中国の大手家電メーカーハイセンスは、2億6,000万ドルを投じてヌエボ・レオン州サリナス・ビクトリア市に新工場を建設するとともに、スマート技術を取り入れた家電製造工業団地を開発する。同工業団地は25万2,600平方メートルの敷地面積となる予定で、新工場は冷蔵庫、食器洗浄機、オープン、エアコン等を北米市場向けに製造する。
鉄道	カンザスシティ・サザン	米国	2021年3月	1億1,800万	米国鉄道大手のカンザスシティ・サザンは1億1,800万ドルを投資し、ヌエボ・レオン州モンテレイ市、サン・ルイス・ポトシ州のインフラ設備増強等を進める。
金融	サンタンデル	スペイン	2021年4月	5億	スペインのサンタンデル銀行は、5億ドルを投じて国内店舗等システムのインフラ強化を実施する。新型コロナウイルス感染症の拡大により停滞していたインフラ・システムの改修等に加え、サイバー攻撃等への対策も強化する。
自動車	スウォボダ・メカトロニクス	ドイツ	2021年4月	3,000万	独スウォボダ・メカトロニクスは、3,000万ドルを投じてケタロ州の生産設備を拡張し、自動車用センサーや機械工学部品の生産を増強する。新たな生産拠点はケタロ州サン・ファン・デル・リオに建設され、新規の直接雇用、間接雇用を400人ずつ見込んでいる。
IT	エクイニクス	米国	2021年5月	5,400万	米エクイニクスは、ケタロ州にある同社のデータセンター・キャンパスを拡張するため、5,400万ドルの投資を行う。同社は並行して1億3,600万ドルをブラジルにあるデータセンターに投資し、大手クラウドサービスに対する提供データ容量の拡充を図る。
自動車	エフテック	日本	2021年6月	1億	日本の自動車部品メーカーであるエフテックはグアナファト州イラバト市にある工場の拡張や生産設備の増強のため1億ドルの追加投資を行う。
食品・家庭用品	ユニリーバ	英国	2021年7月	2億6,800万	英国の食品・家庭用品大手のユニリーバは、2021年以降4年間にわたって2億6,800万USドルを投資し、メキシコ州のレルマ市、トゥルティラン市、モロス州クエルナバカ市、首都メキシコ市の4つの工場を拡張し、食品や洗剤、パーソナルケア用品などの生産を拡大する。今回の投資により、直接・間接合わせて新たに3,000人の雇用が生まれる見込み。
Eコマース	メルカド・リブレ	アルゼンチン	2021年7月	11億	アルゼンチンのEコマース・プラットフォームであるメルカド・リブレは11億ドルを投じてメキシコ国内のディストリビューションセンターの敷地面積を2倍まで拡張することを発表した。また、同投資により利用者向けのクレジット・サービスの拡充も図る。
家電	ワールプूल	米国	2021年7月	1億2,000万	米国の大手家電メーカーであるワールプूलは、1億2,000万ドルを投じ、コアウイラ州ラモス・アリスベ市にある同社工場の生産機能を拡張する。2021年から2024年にかけて冷蔵庫の生産ラインを増強し、130人の直接雇用を増やす予定。
自動車	川崎重工業	日本	2021年8月	N/A	川崎重工業は、北米向けオフロード四輪車の生産能力拡大のためメキシコ現地法人Kawasaki Motores de Mexico S.A. de C.V.および米国現地法人Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A.において生産設備の新設を決定し、両法人に合計約300億円（約2億1,700万ドル）の設備投資を行う。
自動車	プロマ・グループ	イタリア	2021年8月	634万	自動車の座席部品メーカーであるイタリアのプロマ・グループは634万ドルを投資し、メキシコ国内ではコアウイラ州サルティエジョ市に続いて2カ所目となる工場をグアナファト州サンミゲル・デ・アジェンデ工業団地に建設することを発表した。新工場では米国テネシー州にあるフォルクスワーゲンの工場に供給する電気自動車用の座席部品を製造予定。

熱エネルギー機器製造	リンナイ	日本	2021年9月	N/A	リンナイは、米国子会社リンナイ・アメリカがメキシコの業務用給湯器システムでトップメーカーのインドゥストリアル・マス (IM) の全株式を取得したと発表した。IMは、メキシコ国内の業務用給湯器市場の3分の1を占める大手メーカー。リンナイは米国子会社を通じて給湯器(家庭用・業務用)をメキシコ市場で販売しているが、IMがメキシコ州に持つ生産工場を傘下に収め、メキシコ市場に加えて中南米市場にも製品を輸出する。
包装	シグ・グループ	スイス	2021年10月	7,800万	スイスに本社を置く飲料・食品用紙容器製造大手のシグ・グループは、7,800万ドルを投じて北米初となる工場をケレタロ州に建設する。新工場は8万5,000平方メートルの敷地内に新設され、2023年の本格稼働時には200の雇用を創出する見込み。北米市場向けに食品産業用の容器を生産する。
木材資材	アラウコ	チリ	2021年10月	2億	チリの木材ファイバーボード製造アラウコはミチョアカン州ジタクアロ市にある同社工場に2億ドルを投じて中心繊維版(MDF)の生産ラインを2倍に拡張する。2024年に新たなラインでの生産を開始し、家具や建設市場で高まるMDFの需要に応えることを目指す。
繊維	東レ	日本	2021年11月	1億3,000万	東レは米国子会社Zoltec Companies,Inc.を通じて、1億3,000万ドルを投資し同社メキシコ工場の生産能力を年産1万3,000トンから2万トンに増強する。本投資により風力発電機翼等に使用されるラージトウ炭素繊維の生産設備を強化し、同製品の需要拡大に対応するとしている。
自動車	ゼネラル・モーターズ	米国	2021年12月	N/A	ゼネラル・モーターズは、コアウイラ州ラモス・アリスベ市の同社工場で2023年から電気自動車を生産することを目指し部品生産を開始した。2022年にはシボレーボルトとキャデラックの電気自動車を生産する予定。2021年から2025年までに電気自動車生産のため北米地域に350億ドルを投じる計画。
通信機器	ファーウェイ	中国	2021年12月	1,860億	中国の大手通信機器メーカー、ファーウェイは2021年のメキシコに対する投資額が1,860億ドルに達したと発表した。投資額は主に同社が3カ年計画を有している光ファイバープロジェクトに充当されたもの。
家具	LTPグループ	デンマーク	2021年12月	800万	デンマークの家具メーカーLTPグループは800万ドルを投じてコアウイラ州ラモス・アリスベ市に新工場を建設することを発表した。新工場では北米市場向けにオフィス家具などを製造する予定で2022年の生産開始を目指す。
飲料	コンステレーション・ブランズ	米国	2021年12月	13億	米国のアルコール飲料製造大手のコンステレーション・ブランズは、13億ドルの投資を行いベラクルス州にビール工場を建設することを発表した。2020年3月に連邦政府が法的根拠を持たない大衆意見公募の結果によりコンステレーション・ブランズがハカリフォルニア州メヒカリに建設中だったビール工場に水資源の利用許可を出さないことを決定したことから、メキシコ経済省による調整により、代わりにベラクルス州に新工場を建設するもの。
自動車	ボッシュ	ドイツ	2021年12月	7,600万	ドイツの自動車部品・家電メーカーであるボッシュは、同社アグアスカリエンテス州の工場に7,600万ドルを追加投資し、電動ブレーキの生産を拡大する。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

が7.7%減、輸送機械が29.1%増、精密・光学機器が6.4%増だった。農水産食料品の輸入額は13億6,500万ドルで前年比6.4%増加した。そのうち構成比が最も大きい食肉は、豚肉が前年比7.0%、牛肉は69.8%と大きく増加した。果実、ナッツは、アボカド、バナナが前年比で減少したが、マンゴーが34.0%増、クランベリー・ブルーベリーが26.7%増と大幅に増加している。

表8 メキシコの対外直接投資案件

(単位:ドル)

業種	企業名	投資国・地域	時期	投資額	概要
食品・飲料	アルカ・コンティネンタル	米国、エクアドル、ペルー、アルゼンチン	2021年4月	3億1,120万	米ザ・コカ・コーラ・カンパニーの製品を扱う大手ボトリング会社のアルカ・コンティネンタルは2021年4月、メキシコ、米国、エクアドル、ペルー、アルゼンチン向けに110億ペソ(5億3,650万USドル)規模の投資を行うと発表した。なお、投資総額のうち約42%はメキシコ国内に振り分けられる。2021年内に各地域の生産・ディストリビューション機能、デジタル化、サステナビリティを強化するため工場の拡張投資等を行うとしている。
食品	ビンボ	米国	2021年4月	2,500万	世界的な製パン大手のビンボは、米国ジョージア州バルドスタ市に新たな製パン工場を建設するため2,500万ドルの投資を行う。同新工場は、米国南東部のファスト・フードチェーン向けに、ハンバーガー・ホットドッグ・サンドイッチ用パンを供給する。
石油化学	アルベック	米国	2021年6月	9,600万	アルファ・グループの石油化学部門であるアルベックは2021年6月、米カーボンライト社が所有していた米国ペンシルバニア州のベットボトルリサイクル工場を9,600万ドルで取得したことを発表した。
建築資材	セメックス	欧州、アメリカ、アジア、中東、アフリカ	2021年7月	4億2,500万	セメントを中心とした建築資材製造大手のセメックスは、2021年から2023年にかけて4億2,500万ドルの投資を行い、セメントの製造能力の拡大を目指す。投資総額のうち66%はアメリカ大陸に向けられ、11%が欧州、23%はアジア、中東、アフリカ地域に振り分けられる。
食品	グルーマ	米国、スペイン	2021年7月	6,300万	トウモロコシ粉、トルティージャ製造大手のグルーマは、米国インディアナ州とスペインにある同社トルティージャ工場の生産能力拡大のため2021年第2四半期に6,300万ドルの投資を行った。
飲料	コカ・コーラ・フェムサ	ブラジル	2021年12月	1億1,800万	コカ・コーラ・フェムサは2021年12月、ブラジルのボトリング会社コカ・コーラ・CVIを、1億1,800万ドルで買収したことを発表した。コカ・コーラ・CVIは1つのボトリング工場と3か所のディストリビューション・センターをリオ・グランデ・ド・スル州に有する。同州はウルグアイ国境に面しており、南アメリカ諸国でのプレゼンス拡大が目指されている。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

2021年の日本企業による投資案件では、東レが米国子会社を通じて、1億3,000万ドルを投資し同社メキシコ工場におけるラージトウ炭素繊維の生産能力を増強するほか、リンナイは米国の連結子会社を通じて、メキシコの業務用給湯器システムでトップメーカーのインドゥストリアル・マス (IM) の全株式を取得したと発表した。また、川崎重工業は北米向けオフロード四輪車の生産能力拡大のためメキシコ現地法人

および米国現地法人において生産設備の新設を決定した。

表9 日本の対メキシコ主要品目別輸出入

(単位：100万ドル、%)

	2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率
対メキシコ輸出総額 (FOB)	8,394	10,829	100.0	29.0
農水産食料品	9	12	0.1	32.3
鉱物生産品	45	108	1.0	142.0
化学品	200	289	2.7	44.6
繊維製品	46	60	0.6	30.8
鉄鋼・同製品	1,253	2,186	20.2	74.5
一般・産業機械	1,658	2,088	19.3	26.0
ガソリンエンジン	164	247	2.3	50.6
エンジン用部品	230	244	2.3	5.9
機械類 (固有の機能を有する)	153	219	2.0	42.6
ギヤボックス・変速機・駆動軸	167	198	1.8	18.7
加熱機器・湯沸かし器等	88	129	1.2	45.9
金型類	87	114	1.1	30.9
コック・弁類	86	107	1.0	24.0
玉軸受・ころ軸受	78	92	0.9	18.0
印刷機・プリンタ	69	80	0.7	16.5
マシニングセンター等	24	63	0.6	166.1
電気・電子機器	1,326	1,731	16.0	30.5
スイッチ、回路部品	152	194	1.8	27.6
着火・点火用電子機器	138	170	1.6	23.4
蓄電池	100	140	1.3	40.2
テレビ・ラジオ部品	94	115	1.1	22.9
電動機・発電機	85	114	1.0	33.5
照明機器、ウインドスクリーンワイパー	70	87	0.8	24.3
ケーブル・配線セット	62	79	0.7	28.0
電気回路機器用部品	61	76	0.7	26.1
集積回路	47	76	0.7	60.8
輸送機械 (鉄道以外)	2,571	2,742	25.3	6.7
自動車部品	1,391	1,634	15.1	17.5
乗用車	914	773	7.1	△ 15.3
貨物用自動車	173	231	2.1	33.8
光学・精密機器	322	390	3.6	21.1
その他	965	1,223	11.3	26.7
プラスチック製品	263	327	3.0	24.4

対メキシコ輸入総額 (CIF)	5,439	5,765	100.0	6.0
農水産食料品	1,283	1,365	23.7	6.4
食肉	604	687	11.9	13.7
豚肉	514	550	9.5	7.0
牛肉	64	108	1.9	69.8
果実、ナッツ	321	313	5.4	△ 2.3
アボカド	190	186	3.2	△ 2.1
バナナ	69	65	1.1	△ 5.7
マンゴー	11	15	0.3	34.0
クランベリー・ブルーベリー	11	14	0.2	26.7
魚介類	77	71	1.2	△ 7.0
クロマグロ	38	46	0.8	19.4
エビ	18	16	0.3	△ 7.6
野菜類	87	95	1.6	8.9
アスパラガス	44	45	0.8	0.9
カボチャ	29	37	0.6	26.5
トマト	5	5	0.1	△ 4.7
野菜・果実調整品	52	50	0.9	△ 4.5
冷凍オレンジ果汁	21	19	0.3	△ 10.2
飲料、アルコール	33	30	0.5	△ 9.3
テキーラ・メスカル	20	17	0.3	△ 10.7
鉱物生産品	456	450	7.8	△ 1.3
原油	34	53	0.9	54.4
塩	89	93	1.6	4.5
亜鉛鉱	94	134	2.3	42.4
化学品	202	238	4.1	18.1
繊維・縫製品	46	38	0.7	△ 18.7
金属・同製品	58	94	1.6	63.9
一般・産業機械	564	499	8.7	△ 11.5
コンピュータ・同ユニット	305	218	3.8	△ 28.5
エンジン部品	67	72	1.2	6.4
電気・電子機器	1,092	1,008	17.5	△ 7.7
音声・画像の送受信・変換・再生機械	304	244	4.2	△ 19.9
輸送機械	581	749	13.0	29.1
乗用車	308	438	7.6	42.2
自動車部品	270	306	5.3	13.4
精密・光学機器	768	818	14.2	6.4
医療用・獣医用機器	562	590	10.2	5.1
その他	390	506	8.8	29.7
座席部品 (自動車用革製シート)	0	1	0.0	303.3

〔出所〕 財務省「貿易統計 (通関ベース)」から作成

## 主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：1億2,601万人 (2020年)			
②面積：196万4,375km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：10,040米ドル (2021年)			
④実質GDP成長率 (%)	△ 0.2	△ 8.1	4.8
⑤消費者物価上昇率 (%)	2.8	3.2	7.4
⑥失業率 (%)	3.5	4.4	4.1
⑦貿易収支 (100万米ドル)	5,362	34,185	△ 10,939
⑧経常収支 (100万米ドル)	△ 3,304	27,172	△ 4,975
⑨外貨準備高 (グロス) (100万米ドル)	177,177	191,769	200,775
⑩対外債務残高 (グロス) (100万米ドル)	356,752	374,046	373,530
⑪為替レート (1米ドルにつき、ペソ、期中平均)	19.26	21.49	20.27

〔注〕 ⑦：国際収支ベース (財のみ)

〔出所〕 ①：メキシコ国家人口評議会 (CONAPO)、②③④⑤⑥：国立統計地理情報院 (INEGI)、⑦⑧⑨⑩⑪：メキシコ中央銀行

(お問い合わせ先)

海外調査部 米州課

ORB-latin@jetro.go.jp